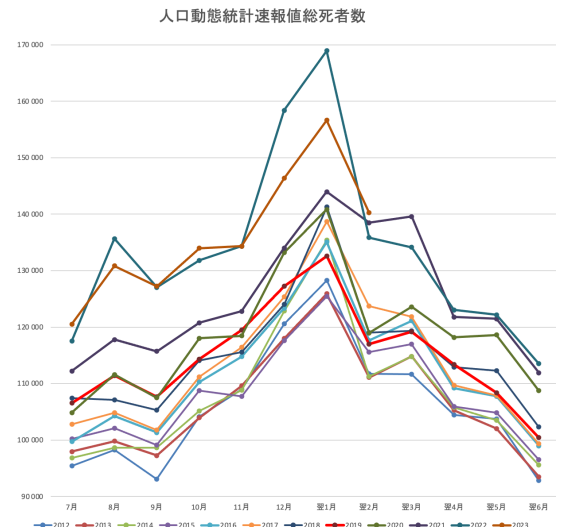


検証 新型コロナ対策

～マスクとワクチン、本当の効果は？～

令和2年2月末の当時の総理大臣による全国一斉休校要請，そこから4年の長きに渡りテレビ，新聞，インターネットニュース等の大手マスコミを賑わせた新型コロナウィルス．実際世の中はようになっていたのか？マスクやワクチンなど対策の効果は？令和6年の今，冷静な目で新型コロナ期間の現実を見つめる．徹底的にデータを眺める．間違えた認識からは何も始まらない．まずはデータを淡々と眺める．今回は情報通信の専門家で，現在も毎日データに基づいた情報を発信している藤川賢治先生にお話を伺います．

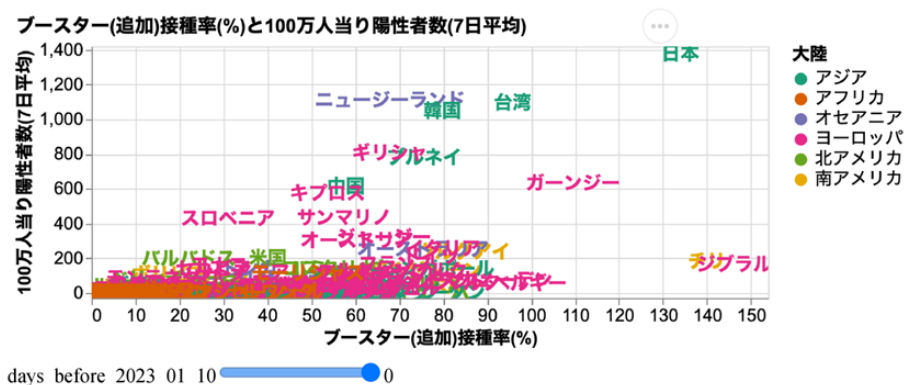


日程: 令和6年7月30日(火)

場所: 埼玉大学 総合研究棟1号館1階 シアター教室
16:20～17:00 学生向け(理論的な内容を含みます)

17:10～18:00 一般向け

プログラムの2つの講演はどちらもどなたでも参加可能です．



- ・ブースター接種率は主要国ダントツ1位
- ・2022年8月、11月、2023年1月に陽性者数世界トップに
- ・人口当たりでもブースター接種数の多い東アジアが世界トップクラス
- ・伸びからいえば日本は世界一ワクチン接種したい国民

図 4-6-2: 2023年になって日本はブースター主要国ダントツ世界1位



藤川賢治先生略歴

1995年 京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修了，1997年 京都大学大学院情報学研究科助教，1998年 京都大道芸倶楽部 Juggling Donuts 創設（メンバーの一人），2008年 国立研究開発法人情報通信研究機構主任研究員・研究技術員，2022年～現在 医療統計情報通信研究所 所長．

埼玉大学教職員有志の会（連絡先: 町原秀二 machihara@rimath.saitama-u.ac.jp）